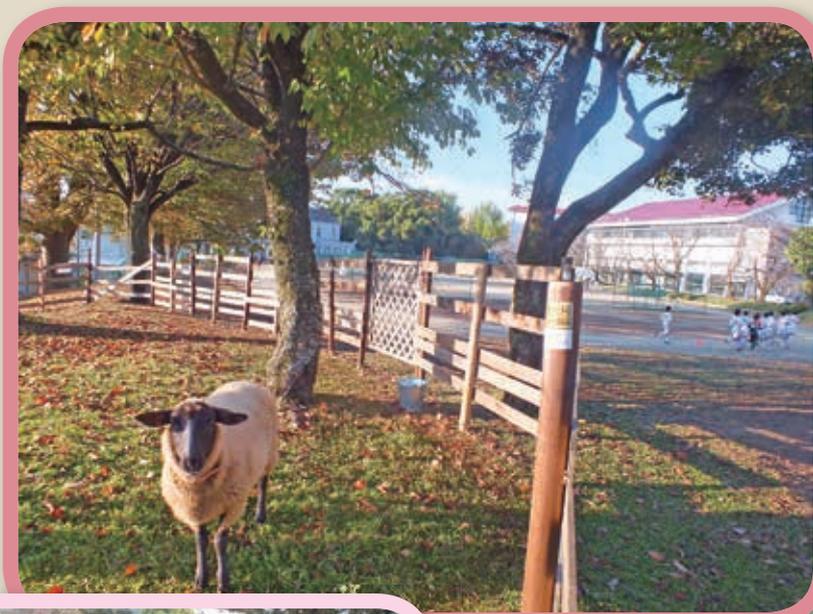


九州ルーテル学院報 Luther No.14



Contents

認定こども園創立 70 周年記念特集	2 ~ 3
学院 NEWS 中高	4
学院 NEWS 大学	5
学院 NEWS 保育園	6
「聖書の言葉」 / 「古本募金」を始めます	7
理事長メッセージ / 入試日程	8

幼稚園創立70周年❀



創立70周年を迎えて

認定こども園 ルーテル学院幼稚園長

尾田 明子

ルーテル学院幼稚園は、今年度「創立70周年」を迎えました。

1948年（昭和23年）九州女学院中学校の体育館の更衣室を借りて、21名の園児で始めた小さな幼稚園が、現在は定員180名の認定こども園として今日まで70年の歴史を歩み続けることが出来たことを感慨深く受け止めています。

この幼稚園で保育・教育を受け巣立っていった子どもたちが4000人を越えました。お祝いの気持ち、子どもたち・保護者の皆様・職員で表そうと、夕涼み会・講演会・記念礼拝と式典・大同窓会・童謡コンサートなど欲張った計画を立て、一年間を通して幼稚園の「70歳のお誕生日」のお祝いをしてきました。

ルーテル学院幼稚園の保育・教育が大切に継承されてきたのは、祈りと愛情をもって、関わっていただいた、教職員の先輩や同僚の方のおかげであり、同時にルーテル学院という大きな組織の中で温かく支えられ、守られてきたことに外なりません。

園名変更や認定こども園など様々な出来事を経て迎えた70年ですが、その歩みが神様に常に祝福され、守られてきたことに感謝をし、これからも継承すべき務めに使命と責任を持って新たな歩みを踏み出そうと思えます。



こども園に、
ひつじのメイコ(メエコ)が
やってきました!!



今年5月13日に東海大学農学部のア蘇校舎で生まれたヒツジを、本学のこども園で譲り受けることとなりました。女の子で、『ひつじのショー』のモデルとなっているサフォーク種と呼ばれる種類のヒツジです。

こども達から名前を募集し、31名の応募の中から、『メイコ(メエコ)』に決まりました。5月生まれからメイ、『命(いのち)』のメイ、メーと啼くからメイ(エ)・・・。

エサがないとき、さみしい時に大きな声で啼きます。
黒髪校区の皆さん！ ごめんなさい。
お勉強中の皆さん！ ごめんなさい。



創立70周年記念礼拝・感謝会

主幹教諭 和田 成子

去る11月3日(土)に行われた記念礼拝の中では、本園の第16回卒園生でもあらわれる日本福音ルーテル大岡山教会松岡俊一郎牧師に、「成長の力を与える幼稚園」と題し、メッセージをいただきました。幼かった俊一郎くんは、幼稚園の時、クリスマスパーティーの中でヨセフの役だったが、本当は博士をしたかったんだという思い出話には、会場に笑いが広がりました。

本園の卒園生が、江藤直純先生も含めおふたりルーテル教会の牧師になられたことを54年前の先生方がお知りになったら、どんなに喜ばれたことでしょう。

感謝会は、第49回卒園生の中川恵美里さんのソプラノ独唱で華やかにスタートしました。

会場の中には、卒園生もたくさんおられ、幼稚園の頃の懐かしい思い出を語ってくださいました。

最後は、現職員全員で心をひとつにして讃美歌詩編23編の「あいなるきみこそ」を合唱し、感謝会の幕を閉じました。

後日、ご参加いただいた方に「とてもあたたかい会でしたね。」と言っていたただけことは、職員一同とても嬉しい言葉となりました。





大同窓会

保育教諭 田中マリ子

10月28日(土)に開催された『大同窓会』には、小学生から60代の方まで、約100名程の卒園生や旧職員の方々が来てくださいました。その中に現在在園している園児のおばあ様がいらしてはいたのですが、その方は、ご自分が園児として、次に母として、そしておばあちゃんとして、今なお幼稚園と繋がってくださっています。他にも親子で卒園生という方もおられ、こうした2世代、3世代のつながりは園にとって本当に喜ばしいことです。

同窓会では、久しぶりの再会を、懐かしい小さな机と小さなイスでお茶を飲みながら楽しんでいただいたり、卒園生や保護者の方によるバイオリンやギター、琴の演奏、職員の出し物等の時間をもちました。

私たち職員も、大きくなった卒園生の学校のことや仕事のこと等近況報告を聞いたり、当時の思い出話をしたり、懐かしく感慨深い時間を過ごさせていただきました。

卒園後もこうして幼稚園に足を運んでいただいたことに感謝すると共に、たくさんの方々を支えられ今の幼稚園があるということに改めて実感しました。

そして、70年という歴史の重さと時代の変化と共に形は変えつつも、この園ですと大切にされ続けてきたことを受け継いでいくことの責任を現職員のひとりとして感じました。



こども園 創立70周年に寄せて

保育教諭 東田 理穂

私は、この幼稚園の卒園生で、ちょうど私が年長組だった時に創立50周年のお祝いをしました。運動会で自分たちが作ったお祝いのおみこしを担いだり、全園児で手を繋いで輪になって踊ったことやグラウンドに並んで『50』の人文字を作ったことなど、印象深く覚えています。

あれからちょうど20年が経ち、今度は職員という立場で創立70周年を迎えることになりました。今年、子どもたちが飾り付けて作った大きなケーキを囲んでダンスを踊ったり、20年前同様『70』の人文字を作って子どもたちとお祝いをしました。

卒園生の私は、自分の育った幼稚園で保育者として働かせていただいているだけでなく、当時の先生方と共に創立70周年のお祝いができますことをとても嬉しく感じていると同時に、深いご縁を感じます。このご縁を大切に、これからもかわいい子どもたちと毎日楽しく過ごしていきたいと思えます。



外務省「高校講座」が開催されました。



11月6日、高校1年生と2年生の特進コース140名を対象に、中高の礼拝堂で、外務省国際機関人事センター室長の本田誠様に講演を行っていただきました。生い立ち、学生時代、民間企業での勤務、外務省に入省後の13年にわたる海外勤務と、2015年に国連で採

択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の取り組みについて、ご自身の経験をもとに「ホンモノ」の話をしていただきました。その後、別の教室に移り、講演を聞いた生徒の中から参加を希望した47名と、講師の方との座談会を実施しました。学年に関係なく、生徒からは合計で20の質問が出ました。主な質問は、語学の習得、国際理解、国際問題・紛争などの多岐に渡るもので

した。中には現在も問題になっているような、答えに窮する質問もありましたが、その一つ一つに、講師の方が丁寧に分かりやすく、答えてくださいました。予定の時間を越えた、非常に活発な座談会となりました。

今回の取り組みを通して、生徒たちが、今世界で起こっている国際的な問題に対する関心の高さと、それを知りたいと思う積極性に、非常に驚かされました。このような生徒が増え、実際に国際的な場で活躍してくれるのではと、頼もしく感じました。



マッケンジーさん また会いましょう！

ルーテル学院高校の姉妹校である、オーストラリアのインマヌエルカレッジから来て、1年間の留学期間を終えるマッケンジーさんにお話をお伺いしました。

1. なぜ、日本（熊本）を選びましたか？

小学校の頃から日本語を勉強していて、高1の時に学校から日本に行く機会がありました。その際にルーテル学院高校とは姉妹校ということもあり、友達もできてもう一度行きたいと思いました。それから益々日本語を学ぶのが楽しくなって、この留学を決めました。

2. 熊本に来て、印象は変わりましたか？

初めは田舎っぽいというイメージがあった。でも、熊本に来て色々なところに行ってイメージが変わりました。私は食べるのが好きなので、街中もよく行きます。特に甘いものが好きでイチゴ大福とか好きです。アイスの味も種類がたくさんあって、マスカット味とか凄い！と思いました。

3. ルーテルにきて驚いたこと、あるいは不思議だと思ったことはありますか？

授業がオーストラリアと全然違います。オーストラリアでは、先生と生徒が会話して進むのに、日本では、先生が話したり黒板に書いたりして、生徒はそれを書き写しています。また、体育の授業も、オーストラリアは男女一緒なのに、日本では別々。科目もオーストラリアでは自分で選べるけど、日本は決まっています。

私は、「言語」が好きで、英語、日本語を勉強しています。他に「観光」や「演劇」等もあり、パフォーマンスをしたりして楽しかったです。反対に「数学」は日本でもオーストラリアでも苦手です。

4. 一年間、熊本で過ごしてみてどうでしたか？

とても住みやすかった。2つのホストファミリーにお世話になったが、何か問題があると、すぐ解決してくれました。寂しいのは、自分の家族に会えなかったことくらいです。

5. ルーテルの印象はありますか？

私は特進コースにいたので、クラスメートはみんな凄くまじめなイメージです。あと、制服が可愛いです。

6. 熊本でどこか観光しましたか？いいなと思うところはありましたか？

阿蘇や天草にも行って、熊本がますます好きになりました。オーストラリアには山がないので、山がすごくきれいだと思いました。私は海も好きですが山の方がもっと好きで、山の近くに住んでいつも見れたらすごく幸せだと思いました。

7. 将来の夢は？オーストラリアに戻って何がしたいですか？

いろいろな国に住んでみたい。大学に行ったら色々な言語を勉強したい。

8. 最後にルーテルの皆さんに一言！

みんな凄く優しくしてくれました。感謝しています。将来、また会うことが出来たら嬉しいです！

マッケンジーさんは、このあと日本各地や韓国を回り、2月頃にオーストラリアに戻るそうです。





👑人文学科キャリアイングリッシュ専攻4年生の坂井梨矩さんが、10月20日活水女子大学にて行われた第6回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテストで、見事優勝に輝きました。

今回、メッセージの内容について、ご本人に『国際的な心作り』として、文章を寄せて頂きました。

国際的な心作り

人文学科キャリアイングリッシュ専攻4年 坂井 梨矩

世界中の人々との出会いは、私の心を国際的に変えました。今回は、私がどのように世界中の人々と出会い、自分自身がどう変わったのかお話ししたいと思います。さらに、国際的な心作りに大切な3つのヒントをお伝えしたいと思います。

一つ目のヒントは、『Just do it now, worry later.』世界中の人々と出会うための手段として、私は韓国旅行を決意しました。しかし、当時の私は、英語を話すことも海外の人々に話しかける自信もありませんでした。そこで、私は画用紙に韓国の国旗と観光地の絵を描き、現地の空港でその画用紙を掲げました。最終的に、親切に話しかけてくださった韓国人の方々との2日間旅をするチャンスを掴むことができました。新しいことに挑戦する時、まずはやってみることが大切です。色んな方法で物事に挑戦することで、あなたもきっと前に進む自信を見つければ幸いです。

二つ目のヒントは、『Have a more open mind.』

私は、韓国から日本に帰国した時、困っていた韓国人家族を助けました。韓国で受けた人々の優しさと、忘れがたい2日間が彼らを助けたいと思わせたのです。このように、人々がより心を開くことは、相互理解と幸せへの道しるべになります。さらに、それは国境を越え、国と国との架け橋になるでしょう。

三つ目のヒントは、『Don't look at yourself, look at people around you.』私は、昨年フィリピン留学をしました。そこで私は、深刻な貧困問題を目の当たりにしました。この貧困問題は、私にとって英語を勉強するよりももっと重要なこととなりました。実際に、私の日本での生活は大きく変わりました。自分自身が持っている物や経験してきたことにもっと感謝するようになったのです。

このように、世界中の人々との出会いは、あなたの心を国際的に変えることができます。世界中の人々と出会うことであなたはより、互いを理解し合うことができます。ぜひ、あなた自身の国際的な心作りのヒントを見つけてみてください。

こどもフェスティバルを開催しました

10月27日(土)に「こどもフェスティバル2018」を大学チャペルにて開催しました。このフェスティバルは、保育士や幼稚園教諭をめざすこども専攻保育コースの学生による地域のこどもを対象にしたイベントです。メインとなる3年生によるオペレッタ「にじのむこうへ～三兄弟のだいぼうけん～」、「ぼくらは宇宙のたんけんたい～つきのカケラをさがせ～」は、台本、衣装、音楽、小道具、大道具などすべてがオリジナルです。授業や実習の合間を縫って準備を進め、これまでの学びの集大成を存分に発揮してくれました。また、大学付属黒髪乳児保育園の園児も、可愛らしいダンスや歌などを披

露してくれ、会場は大いに盛り上がりました。学内外300名を超える多くの方々にご来場いただきました。ご来場の皆様、ありがとうございました。来年も是非お越しください。



第35回西日本大学軟式野球選手権大会出場報告

心理臨床学科 2年 福田 翔



こんにちは。九州ルーテル学院大学軟式野球部の主将を務めている福田翔と申します。秋季リーグ戦を勝ち抜き、創部初の西日本大会出場(11月5日)を勝ち取ることができました。1回戦負けという悔しい結果に終わりましたが、野球を全力で楽しみプレーすることができたと感じています。また、この大会でたくさんの方々から支援と応援の声を頂きました。本当に感謝しています。これからも感謝の気持ちを持ち、もう一度西日本大会に出場することを目標に一生懸命努力していきますので応援よろしくお祈りします。

黒髪乳児保育園のいま

遊びを通して育まれる
健康な心と体づくりを
大切にしています。

温かい触れ合いの中での
《笑顔あふれる運動会》
でした。



屋上園庭にて



0歳児、1歳児の子どもたちも保
育士と一緒に、明るく伸び伸び
と生活しています。

2歳児、3歳児の子どもたちは
自ら体を動かし、楽しい・おも
しろいという経験を積み重ねて
います。



子飼公園



子飼商店街近くの公園



交通安全の習慣を身につけながら
行動しています。

『思い悩むな』

マタイによる福音書の6章34節には、こういいます。「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である」と。これは誰にも響く言葉であり、有名です。しかし、誤解をもたらしやすい言葉でもあります。

例えば、私は「明日のことまで思い悩むな」と分かっていても、手元にある次年度の予算案や年間行事計画などを考えており、処理しています。これらは明日以降に関するものです。それにしても、考えなければならぬことです。ですから、明日のことではなく、今日の仕事です。

また、「明日のことは明日自らが思い悩む」という言葉に、一見嬉しくなりますが、深く考えると、そうはいかないと分かります。

なぜなら、「明日」の次も明日なので、「明日に」と繰り返すならば、その明日は永遠に來ないからです。ここでは、先のことがかた進めなくなることをいいます。この受

け止め方も誤解です。

そうすると、イエス様はいったい何を教えているのでしょうか？それは神様への信頼です。

もし私たちが目の前のことに集中しても、一日それが自分の力を超えたら、落ち込むでしょう。その時こそ、背後におられる神様に気づくべきです。そして、神様への信頼を再び正します。そして思い悩まず神様を信頼して、ことに新たに対応します。そこに活路が開かれます。これこそ、イエス様がこの言葉を語る目的でしょう。

どっつか、どんな困難に直面していても、それに隠されている神の存在と摂理を常に思い出ししょう。

大学チャプレン

ホワン
黄 大衛
ダーウエイ



『九州ルーテル学院古本募金』を始めます

『九州ルーテル学院古本募金』とは、教職員、在校生、保護者、卒業生や一般の方々からお送りいただいた本の買取金額が、学院への寄付金となる取組です。

現在、受け入れに向けて準備作業を進めておりますが、皆さまのお手元にご提供いただける書籍等がございましたら、ぜひ、ご趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【買い取り可能な書籍等の例】

ISBNコード※の付いた書籍・CD・DVD等

【買い取りできない書籍等の例】

- ISBNのない本・個人出版の本 / 古書 / マンガ雑誌
- ・コンビニコミック・百科事典・起動しないゲーム機 / ソフト・ディスクがひどく傷ついているもの
- ・ケース及びディスクが欠品しているゲーム / DVD・規格品番がないもの・違法なもの・海賊版 / コピー / サンプル・ゲーム周辺機器・PCゲーム等

なお、具体的な受入れ時期や手順が決まりましたら、改めてHP等でご案内させていただきます。

詳しくは、法人事務局 総務課 (☎ 343-3111) へお尋ねください。

※ ISBN とは、国際標準図書番号です。下記のような表記で書籍の裏表紙等についています。



ISBN978-4-1234-5678-9
ISBN見本

新年のごあいさつ



理事長 福田 邦子

皆様には、2019年の新春をいかがお過ごしでしょうか、お伺いいたします。

2018年は、災害の多い一年でした。大阪や北海道の地震、中国・四国地方の水害等、多くの人々が被災し、人的被害も出ました。2016年に、私達は、熊本地震を経験してまいりましたので、そのご苦労は痛いほどわかります。被災された地域の方々に、心からお見舞いを申し上げます。

かかる中で、九州ルーテル学院でも、様々な事がありました。いろいろ問題が発生し長い間、懸案でありましたサッカー場の人工芝の工事がやっと完了しました。多くの皆様のご努力に心から感謝いたします。又、11月には、こども園ルーテル学院幼稚園が創立70周年を迎え、記念礼拝の後、感謝会が開催されました。この70周年を一つの節目として、今後、さらに輝かしい歴史を築いていくことを期待しています。

又、この秋に活水女子大学で開催された第6回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテストで人文学部4年生の坂井梨矩さんが見事優勝しました。上智大学や青山学院からの出場者もいる中での優勝でした。さらに、水泳や空手をはじめとするスポーツの面でも優勝や入賞など、様々な活躍がありました。スポーツや文化の面でのこの様な活躍は、本学にとりまして大きな誇りです。

我が国の少子化が進む中、私学の経営は益々厳しくなっていくものと思われまます。本学は今年93年目を迎えますが、この様な時こそ建学の精神である「感恩奉仕」に立ち返り、一人ひとりを大切にすることを徹底し、学生・生徒・園児にとって魅力ある学院にするために教職員一同、心を一つにして精進していかなくてはなりません。

本年も、皆様には、こども園から大学までそれぞれのお立場でなお一層のご支援を賜ります様お願いいたします。



◆ 2019年度入試(2018年度実施)の日程について ◆

九州ルーテル学院大学 *詳細については、大学HPまたは☎096-343-1600までお問い合わせください。

入試区分	出願期間	試験日	合格発表
一般Ⅰ期	1月21日(月)～1月31日(木)	2月9日(土)	2月20日(水)
帰国生 及び 私費外国人留学生	1月21日(月)～1月31日(木)	2月9日(土)	2月20日(水)
センター試験利用	2月1日(金)～2月12日(火)	本学独自の試験は行いません	2月22日(金)
一般Ⅱ期	2月20日(水)～2月27日(水)	3月6日(水)	3月13日(水)

※郵送・持参ともに期間内必着

ルーテル学院高等学校 *詳細については、HPまたは☎096-343-3246までお問い合わせください。

	出願期間	学力試験・面接	合格発表
専願・奨学	1月9日(水)～1月16日(水)	1月23日(水)	1月28日(月)
一般	2月1日(金)～2月8日(金)	2月13日(水)	2月18日(月)

※土・日・祝日を除く午前9時～午後4時まで

ルーテル学院中学校 *詳細については、HPまたは☎096-343-3246までお問い合わせください。

	出願期間	学力試験	合格発表
一般前期・奨学後期	12月19日(水)～1月10日(木)まで	1月12日(土)	1月16日(水)
一般後期	1月17日(木)～1月30日(水)	2月2日(土)	2月5日(火)

※土・日・祝日を除く午前9時～午後4時まで

ルーテル学院幼稚園 *詳細については、幼稚園HPまたは☎096-343-3968までお問い合わせください。

願書受付	面接
受付中	願書受付時にお知らせします。

九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園 *詳細については、保育園HPまたは☎096-343-5017までお問い合わせください。

願書受付	面接
受付中	願書受付時にお知らせします。

Luther

九州ルーテル学院報
No.14

発行 学校法人 九州ルーテル学院
発行日 2019年1月8日
編集 九州ルーテル学院報編集委員会
印刷 株式会社印刷 熊本支店

ご意見・ご感想は編集委員会まで

〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111
shomu@klc.ac.jp

感恩奉仕
～ Gratitude and service ～